



第2660地区



WEEKLY REPORT

大阪船場ロータリークラブ

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

創 立 昭和63年(1988)5月23日

事務所 大阪市中央区西心斎橋1-7-3(〒542-0086) 北炭屋町ビル

Tel. (06) 6244-1008 Fax. (06) 6244-1010

Web: <http://sembarotary.club/> E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp

例 会 毎週月曜日・12時30分

ホテル日航大阪 Tel. (06) 6244-1111

会長: 澤田 宗久 幹事: 岡本 茂 会報広報委員長: 日比 敬史

四つのテスト/言行はこれに照してから

I. 真実かどうか II. みんなに公平か

III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

第1232回 例会 2016年(平成28年)3月7日

(水と衛生月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 藤野 英男 副SAA)

- ロ-タリ-ソング 「君が代」「四つのテスト」
- 会長の時間 ◎ 幹事報告 ◎ 委員会報告 ◎ ニコニコ箱報告 ◎ 出席報告
- 3月お誕生月会員お祝い
- 卓 話 「会社創立50周年を顧みて」 西村 文延 会員

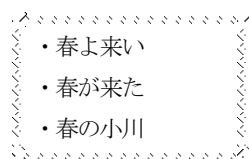
前回(2月29日)例会記録

◇プログレス 片岡 清夫 SAA

1. 来客紹介 宮原 彰 親睦委員

ゲスト: 1名 地区外: 1名 地区内: 4名 合計: 6名

ゲスト: 来日学生 ジャシュア シェクター君



2. 会長の時間 澤田 宗久 会長



先週木曜日に、2660地区災害支援委員会が開かれ、立野ガバナー、泉バスターガバナー委員長、私が出席致しました。

昨年3月13日バヌアツ共和国にサイクロンが襲来して多くの家屋が倒壊し、甚大な被害を及ぼした時に、2660地区は敏速に対応して頂き325万円の義援金をバヌアツ共和国のポートヴィラRCに送金して頂きました。その使い道ついて、地区の災害支援委員会に説明して参りました。

その後、親睦委員会主催で新会員の上月環様の歓迎会を行いましたところ、多くの会員の皆様に出席して頂き、ありがとうございました。

色々な話で盛り上がり、楽しい歓迎会となりました。上月様のご活躍を期待しています。その時、皆様との歓談の中で今後のクラブの在り方について意見が出てきました。

最近テーブルに座る位置が年配組と若い組とに二分され固定化しつつあります。船場RCの平均年齢は67歳です。このままでは益々隔たりが出来るので、それをなくす為にはどうすれば良いのか？・・・

それぞれの情報交換の意味でも、皆で考える必要があります。

又、前列の会長席ですが、今では会長・副会長・会長エレクトが3年間座っていますが、そうしますと会員方々の情報と状況がつかみ難い為、会長・幹事はそのままで、副会長・会長エレクトが各テーブルに移動しては如何でしょうか？・・・等々、一度理事会にはかって議論しては如何でしょうか？との意見が皆様から出てきました。

この様に、今後のクラブの在り方、運営について、真剣に考えると言うことは大変喜ばしい事です。皆様と一緒に考えて行きたいと思います。

今週から、ジャシュア君が例会に来るようになりました。聞くとところによりますと、他の留学生も毎週例会に出席しているようです。

後程、彼から皆様にお礼を言いたいとのことです。

3月から、春休みになり、約1ヶ月家に居ることになりますので、彼なりに、春休みの過ごし方を時間の無駄にならないように、と考えているようです、もし宜しければ、体験学習として、会社見学や、簡単な作業体験などを提案して頂ければ彼も有意義に過ごせるかと思しますので、どうか会員の皆様のご協力宜しくお願いいたします。

3月6日(日曜日)10時～11時まで、地区社会奉仕委員会では、「大和川・石川クリーン作戦」として、私達の生活の根源にかかわる重要な『水』環境に取り組んでおり、国土交通省・大阪府・他市町村主催の本事業に協力し、府内最大の清掃活動を行います。

その時に、沖社会奉仕委員長と私とジャシュア君が参加して活動して参ります。

3. 幹事報告 岡本 茂 幹事

①船場ロータリークラブ30周年の第1回準備委員会が、本日、例会終了後、この場所で開催されます。関係者は、お集まり下さい。

②春の初級RYLAセミナーが、4月29日(金・祝)から5月1日(日)の2泊3日で、ホテル・ロジック舞洲において開催されます。ホストクラブは大阪西北RCになっています。多くのご子息ほかの登録、参加をお願いします。

③3月度の理事会は、14日(月)の例会終了後です。お間違えのないようご参集ください。

4. ご挨拶 来日学生 ジャシュア シェクター 君



皆様こんにちは。僕は昨日有馬温泉に行ってきた。魚釣りをしてから唐揚げにして食べました。とても美味しかったです。それから温泉に入りました。今週から毎回ロータリーに参加させていただくことになっていますので、これからもよろしくお願い致します。大阪船場ロータリークラブの皆様、いつも大歓迎していただき心から感謝いたします。僕は毎週楽しみにしています。いろんな話をしたいです。もっとロータリーについて学びたいです。日本のこともっといっぱい教えて下さい。僕はできるだけ頑張ります。

5. ニコニコ報告 藤野 英男 親睦委員

斧原 会員・・・本日卓話です。よろしくお願いします。

西村 会員・・・今月で会社創立50周年を迎え、先日帝国ホテルで盛大に祝賀会を行いました。私のスピーチ25分間には感謝と喜びがイッパイ萬感の思いで終了致しました。未だまだ長生きします。今後共御支援の程よろしくお願い申し上げます。

小島 会員……3月14日夜の心斎橋ロータリークラブとの情報集会で心斎橋 RC の岩佐会員と合奏しますので今夜初練習です。(岩佐会員は(バイオリン)私はギターです。)

新川、今泉、清水、杉浦、藤野、松永、宮原、栗原、塩尻、片岡、平山、斎藤、北野、松谷、大嶋、岡本(真)、俣野、高階、中村、井澤、溝畑、長沼、沖、カンタレー、

各会員……次年度各委員長決定 皆様よろしくお願ひ致します

6. 出席報告 片岡 清夫 SAA

会員総数 39名 出席率計算会員数 38名 出席会員数 34名 出席率 89%

第1228回(2月8日) 修正出席率 100%

7. 職業奉仕卓話

◎「大東亜戦争前後の想い出」 斧原 秀夫 会員



昨年在終戦後 70 年……。まさに忘却の彼方へ消えそうになる子供時代の記憶のかげらを、改めて集めてみました。私は、昭和10年生まれですから、戦争が始まったのが幼稚園の時。昭和16年から終戦の昭和20年、そして戦後の21年迄の5年間は、世の中が180度激変した時期であり、常識も価値観も大転換の時代でありました。

私は大阪天王寺の生まれ。父が昭和15年阪急沿線の夙川に別荘を建てました。隣近所は洋館の多い小粋な雰囲気を持つ場所で1年近く家族で暮らしましたが、母が妹の出産が近くなり、大阪に引き揚げました。私は、夙川のカトリックの幼稚園に入ったばかりでしたので、女中さんと二人で残ることになりましたが、同じ幼稚園友達のM君の母親から、友達同士一緒に賑やかに暮らす方が楽しいからと誘われて、両親の了解の許にお世話になることになりました。M君の家は、丘の上に建つ全くの洋館造り。椅子・テーブル・ベッドで生活し、トイレは水洗。風呂は西洋式のバスタブ。その当時は珍しい地下から2階迄エレベーターを設置。丘の下にはテニスコートが広がり、朝食はトーストにハムエッグ、夕食は長方形のテーブルでナイフ、フォークの西洋式でした。私にすれば、大阪の家では純日本式の生活なだけに、こちらの生活に大満足。洋風がすっかり気に入って1年近く長逗留。後から考えれば、貴族のような生活ぶりでした。昭和17年に大阪の小学校に入学する為、別れを告げ帰阪。私立の帝塚山学院小学校へ入学。上町線で通学しました。3年の時、空襲の危険を避ける為、全国的に学童疎開が実施され、3年生以上6年生迄、奈良の学園前へ集団疎開で移動しました。中学校の木造校舎の各教室に畳を敷き、そこが生活空間兼教室でした。学園前は、戦後立派な住宅街となりましたが、その頃は一面の草原が広がり、何分木造平屋建ての隙間だらけの建物で、冷暖房の設備も全く無い厳しい環境でした。最初の頃は、米の飯がありましたが、やがて芋・大根になり、戦争が長引くとともに、「護国芋」と称する大きさだけはしっかりあるものの味も全くない新種の芋に変わり、葉っぱと寒天の汁、南京が中心で、常にすきっ腹を抱える状況となりました。戦前の生活と較べると、まさに天国と地獄の差。菓子類やおやつ類は全くなし、替わりに歯磨き粉(スモカ)を舐めていました。

ある日、友達のD君と殴り合い取っ組み合いの喧嘩をしていた時、(まさに24時間、仲間と一緒にあったので喧嘩は日常茶飯事)ふと強い視線を感じ廊下側の窓を見ますと、そこに様子を見つめる父の悲しそうな顔が覗いていました。慌てて喧嘩を止め、廊下に佇む父と会いました。意外に父は優しく私の頭を撫でてからポツンと話しました。「突然、召集令が来た。これから海軍に入る。今の戦況だから無事帰れないかもしれないが、君は長男だから母を守ってほしい……」と別れの面会でした。

昭和20年3月 大阪空襲の翌朝、校庭が一面真っ黒になっていて驚きました。これが全て灰。空襲の炎と風に灰が煽られて、生駒の山を飛び越え奈良まで飛んで来る激しさで、空襲の凄まじさを実感しました。大阪空襲の直後、先生が大阪の各生徒の家庭の様子を見回りに訪問されました。その後、一人ずつの家の状況、家族の安否を話して頂き、私が最後になりました。

「家は一部が火災で焼けたが、蔵を始め大部分が残った。但し、残念ながら家族の方とは会えなかった。どこかに避難されているものと思う。」とのこと。私なりに、家は全焼、家族は全滅と察しました。他に避難していれば、どこかに手掛かりを残している筈。昼間は平常通り振舞っていましたが、夜、布団に入ると母を始め弟妹達の顔を思い出し、涙が出て仕方なかったものです。私もいよいよ戦災孤児になった・・・と悟りました。

昭和 20 年 8 月 終戦の天皇詔勅を疎開先の職員室に集合して聞きました。ラジオの音声が悪いのと、天皇のお言葉が充分理解出来なかったのですが、先生の解説もあり、主旨は理解出来ました。

まさかのポツダム宣言受諾で終戦を迎えるとは、想像も出来ませんでした。友人の一人が、終戦であれば家に帰り、親に会えると素直に言葉にしましたが、我々はそれに対し、「何を言うんだ！日本が負けたのが悔しくないのか」と、その友人を殴ってしまいました。心の中では同じ事を思いながら、建前は飽くまで軍国少年の性でした。終戦から約 4 カ月後、帰阪することになりました。其の期間は、それぞれ両親の受け入れ準備の期間もあり待たされたのです。疎開で奈良へ来てから、初めての帰阪でした。

阿倍野の戦災跡には、「リンゴの唄」と共にいち早く闇市が立ち並び、配給には無いあらゆる物資が豊富に出回るようになりました。この闇市を仕切っていたのがヤクザのグループで、日本人以外に朝鮮人、台湾人グループなど多数でした。土地の持ち主が疎開している隙に、不法占拠で縄張りを造っていききました。父の所有地もご多分に漏れずヤクザに占拠され、警察の力では到底相手になりませんでした。何しろ、戦後の警察は棍棒しか持たされていないのに対し、ヤクザ側は組同士の抗争にも備えて、日本刀を始めピストル銃器で完全武装していました。私も闇市で日本刀や軍隊で使われた南部式の拳銃が、ズバリ並べられている様を目撃した事もあります。

以上、思い出すままの子供目線で述べて参りましたが、この時代を決して懐かしむものではなく、むしろ惨めな戦争体験は 2 度としたくありません。物価統制で全ての物品が配給制度になる、耐え難きを耐えねばならぬ時代、我慢強さを鍛えられた体験であったと思います。国家予算の 40% が軍事費に当てられる、この様な時代は再び迎えたくはありません。憲法改正や安保改正は慎重に臨みたいものです。

◎ 「近況報告 一事業継承と狭心症(要経過観察)一」 沖 真一郎 会員



昨年 2 月 娘が事業継承に向け頑張ると言ってくれた。その矢先、9 月に狭心症(後に要経過観察に格下)と診断され戸惑っておりました。今、娘とその同世代の幹部候補生の育成に取り掛かっております。昨年 3 月には自ら企業理念を学び、新たに若き人達の企業理念を考え創って貰う為に理念会議なるものを立ち上げました。そこで創り得た企業の目標・目的に向かい今、戦略委員会を発足させております。その最中に忌まわしい狭心症の診断。要経過観察とは言ってもらいましたが、食療法とストレスの回避は必須とのこと。若き人たちの成長の目途が付くまではロータリアンとして禁句の『NO』を言わざるを得なく、大変、恐縮しております。

お知らせ

小山章松会員の事務所の名称が変更になりました。

小山章松法律事務所

※住所・電話番号・FAX 番号・E-mail は変更ございません。

☆次回3月14日(月)例会予定

- ・フィリピン帰国報告:澤田会員
- ・理事会 6階「橋の間」13:40～
- ・合同情報集会 4階「孔雀の間」18:00～